



あかり

八尾市人権協ニュース

八尾市人権啓発推進協議会

第20号

2026年

(令和8年)

3月発行

ごあいさつ

八尾市人権啓発推進協議会は、同和問題を解決するため、1966（昭和41）年に八尾市PTA協議会、八尾市女性団体連合会（当時の八尾市婦人団体連合会）、八尾市連合青年会、八尾市青少年育成連絡協議会、八尾市人権教育研究会（当時の八尾市同和教育研究会）が発起人となって「八尾市同和教育推進協議会」として結成され、1987（昭和62）年に「八尾市人権啓発推進協議会」と改称し、本年度で60年目を迎えました。

現在では、市内30の各種団体と市内32すべての地区福祉委員会で形成され、人権尊重の理念を市民一人ひとりの心の中に育て、「差別のない明るいまちづくり」をめざし、さまざまな取り組みを行っています。

当協議会では、スローガンである「地域が育む、人権文化のまちづくり～思いやり笑顔あふれる八尾のまち～」に、具体的な行動目標を加えた「八尾市人権啓発推進協議会 人権宣言」をもとに、人権啓発を推進しておりますが、今後も地区人権研修をはじめとする、地域住民による人権「草の根」運動など、人権文化が根付くための取り組みをより一層推進いたします。

どうぞご支援ご協力をお願いいたします。

八尾市人権啓発推進協議会
会長 角田 禮子

「52ヘルツのクジラたち」上映会（人権啓発映画上映会）

今年度は、児童虐待等をテーマにした「52ヘルツのクジラたち」を上映しました。

家族に虐待された過去を持つ主人公は、自分と同じように虐待され、声が出せなくなった少年と出会います。夢も未来もなかった少年に、たった一つの願いが芽生え、その願いを叶えるべく主人公が立ち上がる物語です。

（参加者の感想）

- ・つらいシーンが多く、涙なくしては見られませんでした。誰かのために役に立てる人、助けることのできる人になりたいと思いました。
- ・それぞれ問題を抱えながらも地域で過ごしており、地域で様々な人を受け入れることが大切だと思った。

人権啓発映画上映会

「52ヘルツのクジラたち」

上映時間 115分
字幕あり
手話あり

「52ヘルツのクジラたち」
主演 山崎賢人、山崎天来、山崎天海、山崎天来、山崎天海

3.1画
本邦大賞受賞が原典する傑作小説 希望の映画化

参加無料
八尾市人権啓発推進協議会 公財八尾市文化芸術事業団

日時 8月17日 14時開始(開場 13時30分)
場所 八尾市文化会館プリズムホール 5期セッションホール
定員 120名
※事前申込み不要 (当日先着順)

お問い合わせ先 / 一鈴保育申込先
八尾市人権啓発推進協議会 人権啓発課
TEL: 072-924-3830 FAX: 072-924-0175

第48回みんなのしあわせを築く八尾市民集会

当協議会では、毎年、みんなのしあわせを築く八尾市民集会を開催しており、第48回となる今年度はソプラノ歌手の大島久美子さんをお招きしました。「私も輝く!」というタイトルで、力強く美しい歌声と共にご講演いただき、男女共同参画について考える機会としました。



(参加者の感想)

- ・すてきな歌をきいて感激しました。自分の人生を考える機会をつくっていただきありがとうございます。
- ・大変なこともたくさんありますが、前を向いて生きて行こうと思いました。
- ・歌声も素敵でしたが、人生をお聞きして感動しました。感謝の気持ちをもって何か一つでも周りの人を助けようと思いました。
- ・人生においては、多くの人たちから助けられていることを再認識させてもらいました。
- ・たくさんの人との出会いの中で導かれた人生、人として生きられる姿に勇気付けられます。ありがとうございました。

ウクライナ避難民への支援について

八尾市では、令和4年5月から、ウクライナ人道支援のための寄附を受け付け、本市に避難して来られたウクライナの人たちに対して、安心して滞在することができるように生活支援等を行っており、市民の方々からの寄附金で購入した自動翻訳機を市民課や出張所等、ウクライナから避難して来られた方をはじめとする外国人市民に対して直接支援を行う窓口等に配置しています。

ロシアによるウクライナ侵攻は続いており、ウクライナの危機はいまだ収束の見通しが立っていない状況であると言わざるをえません。ウクライナへの人道支援に引き続き、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



人権啓発推進委員養成研修

第1回

「偏見・差別を生み出す心の仕組み ～社会心理学から考える～」

講師：立命館大学 総合心理学部

准教授 村山綾さん

(感想)

- ・人は知らず知らずのうちに「ステレオタイプ」をつかって、ある程度人や物事を判断していることがわかった。
- ・ステレオタイプは初めて聞いた言葉でしたが、偏見と差別の違いも少し理解できました。
- ・偏見を少なくしていくことが大事。研修などを通じて気づきの機会を常につくっていくことが必要だと思った。
- ・むずかしいテーマでありましたが、何となく自分の中で偏見、差別につながっていく事の発見、良かったです。心掛けて、気を付けます。気付けて良かったです。

第3回

「私も輝く！」

講師：ソプラノ歌手 大島久美子さん

(感想)

- ・どの歌もすばらしい声で聴かせて頂き、心が洗われました。講演もすばらしく、一言一句聞きのがさずに聞き入りました。
- ・私も昔のことを思い出して涙が出て来た。自分ももう少し頑張らないといけないと思った。
- ・久しぶりに命がふるえました。大島さんありがとうございます。勇気、希望、感謝でいっぱいです。
- ・トークに合わせての歌はすべての曲に感動！一人一人に声かけをして自分なりに頑張っていこうと思います。参加できて本当に良かったです。

第5回

「性の多様性から考える ～人権と私たちの暮らし～」

講師：私のための保健室として 代表/

八尾市男女共同参画審議会 委員

(感想)

道原 舞さん

- ・考え続けることの大切さが分かりました。知らない方ともお話できて、良かったです。
- ・「人権とは」という本当の基本の基本を教えて頂いたように思います。一番大切な事を教えて頂き大変ありがとうございました。
- ・人権について難しく考えていましたが、「がまんしないこと」が人権であると考えることが出来、人権が解りやすくなりました。
- ・全ての人が、幸せを感じて生きていける世の中になってほしいですね。



第2回

「障がい者と人権を自分ごとと考えるために ～NHK『バリバラ』を通じて伝えたかったメッセージ～」

講師：NHK大阪放送局コンテンツセンター

第3部チーフプロデューサー 森下光泰さん

兵庫県相談支援ネットワーク 代表理事 玉木幸則さん

(感想)

- ・あらゆる差別をなくし、他人ごとではなく自分ごととして考えていきたいと思った。
- ・障がい者差別解消法の本当の意味が分かってよかった。
- ・障がい者の訴えがなくても、想像して配慮する。これが障がい者だけでなく、すべてのひとに住みやすい街にする。もっともっとひとにやさしい街にしたいと思います。皆さんで考えましょう！まず、本人に聞いてみる。本人なしでは解決しない。

第4回

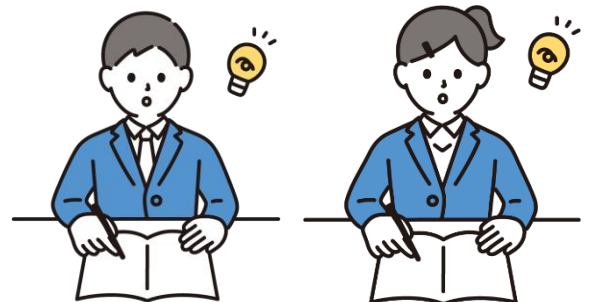
「女性と人権 ～戦争と性暴力、加害と犠牲～」

講師：映画「黒川の女たち」監督

松原文枝さん

(感想)

- ・事実を正しく知ること、おかしさに気づくことの大切さを改めて感じる事ができました。
- ・講師の熱い想いと、現在の危機感が良く伝わった。
- ・戦争したらあかん。日本の憲法9条は宝物。何としても守らなければ。
- ・大変重要なお話を大変ありがとうございます。上映された勇気を思い敬意を表したいです。
- ・お話を聞かせて頂いているだけで、当時の女性の辛さがひしひしと感じました。



地区人権研修事業

15地区の福祉委員会で人権研修が実施され、のべ570の方が参加されました。来年度も引き続き、地区人権研修事業を進めていきます。

高砂地区

DVD上映

「認知症と向き合う」

久宝寺地区

「やさしい関係を育てる
コミュニケーション法」
メンタルさぽーターズ
Labo 高橋孝子さん

美園地区

「あなたに知ってほしい
『虐待を受けた子(私)の
気持ち、親の苦しみ、
あなたの力』」
児童虐待防止機構
オレンジCAPO
理事長 島田妙子さん

長池地区

DVD上映

「サラーマット
～あなたの言葉で～」

高安地区

「8050問題の
現状と課題」

梅花女子大学
文化表現学部

情報メディア学科

教授 綾部貴子さん

高安西地区

「これからの地域の
支え合い、助け合いを
考える

～高安西地区に
あったらいいな!～」

【ファシリテーター】

八尾市社会福祉協議会
安藤さん

西山本地区

「いつまでも
明るい笑顔で
楽しい毎日

～高齢者の人権を
守ろう～」

楽語家 交遊亭楽笑さん

東山本地区

DVD上映

「認知症と向き合う」

曙川地区

DVD上映

「認知症と向き合う」

志紀地区

「志紀中学校の取り組み」

志紀中学校

校長 黒井健之さん

教務主任 大谷稔崇さん

学年主任 藤井信一さん

八尾第二地区

DVD上映

「破戒」

八尾小校区

第一地区

DVD上映

「言葉があるから…」

竹渚地区

「災害時における

障がい者理解・

支援講習会」

八尾市障害者

団体連合会

木村滋さん

永畑地区

「私が落語を

演じた理由」

福祉落語家 壽文寿さん

龍華地区

DVD上映

「その人権問題わたし

ならどうする?家庭編」、

「その人権問題わたし

ならどうする?地域編」

各種団体・地区福祉委員会の人権啓発事業実施状況

当協議会に加盟している各種団体及び地区福祉委員会につきましては、人権が尊重されたまちづくりのため、主体的に人権啓発事業を実施いただいております。

ここでは、各種団体及び地区福祉委員会が実施された人権啓発事業について、まとめています。

実施団体名	企画内容
八尾市女性団体連合会	八尾市消費者相談員研修会（全12回） 「健康で安全安心な暮らしを求めて」 他7事業
八尾市人権教育研究会	八尾市人権教育研究会 夏季研究集会 「教室にいるマイノリティ アイヌ民族」 他4事業
一般財団法人 八尾市人権協会	じんけん楽習塾（全6回） 「『ジロジロ』差別から深める外国人への差別問題 ～問題を自分たちに引きつけながら考えるために～」
社会福祉法人 八尾市社会福祉協議会	八尾市社会福祉協議会 人権研修会 「少子高齢化社会における『外国人』との共生」
八尾市青少年育成連絡協議会	青少年指導員・こども会育成者講習会 「子どもが安心して暮らせる地域づくり ～子どもの権利を知ろう～」
八尾地区更生保護女性会	人権啓発研修 「外国人の人権を守る」
人権擁護委員八尾地区委員会	いじめをなくそう人権教室（全31回） 「いじめ問題」 他4事業
用和地区福祉委員会	地域の支え合い、助け合いを考える “一人一人の出来る事を語り合おう”
曙川東地区福祉委員会	八尾学びの会 「外国人のための日本語教室」

差別落書き防止啓発ポスターの掲示

公共施設・駅・公園など、多くの人が入り出りする場所で、差別落書きが見られています。

落書きの内容は、部落差別（同和問題）・障がいのある人・外国人などに対する差別など多方面にわたっており、差別意識や偏見が意図的に表現されており、落書きをそのままにしておくことは、傷つく人を増やすことに繋がります。

差別落書きは許すことのできない悪質な行為であり、当協議会では、差別落書き防止啓発ポスターを市内各所に掲示し、差別落書きの防止啓発に取り組んでいます。

差別落書きを見つけたら・・・

- すぐに人権政策課に連絡する。
- 落書きを紙などで覆い隠す。
(確認を行うまで、こすったり消してはいけません)



差別落書きを発見された方は、至急下記までご連絡下さい。

072(924)3830 (八尾市人権ふれあい部人権政策課)

八尾市人権啓発推進協議会・八尾市

世界人権宣言パネル展

9月20日(土)に、アリオ八尾2階オレンジコートで開催された「世界人権宣言パネル展」に参加しました。

世界人権宣言の条文、差別落書き防止啓発パネル、障害者権利条約の条文の展示等がなされ、アンケートが実施されました。

【世界人権宣言で一番大切だと思う権利アンケート結果】
「ひとはみな生まれた時から自由で平等である」という内容の第1条が最も多く選ばれました。



当協議会で作成した啓発物品の提供を行い、「差別のない
明るいまちづくり」の実現に向けて積極的な啓発活動を展開
し、多くの方にご参加いただくことができました。

人権週間街頭啓発活動

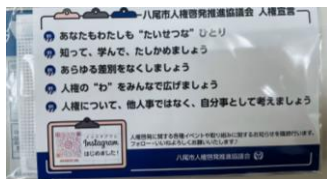
12月4～10日の人権週間にあたり12月4日(木)に行われた、近鉄八尾駅前・JR久宝寺駅前での啓発活動に参加しました。

当日は、人権擁護委員八尾地区委員会・八尾市女性団体連合会のみなさまとともに、人権週間ポケットティッシュ、本人通知制度のチラシとともに、当協議会作成の八尾市人権啓発推進協議会 人権宣言周知の啓発マスクを配布し、市民のみなさまへ啓発を行いました。

啓発物品の作製

八尾市人権啓発推進協議会 人権宣言を周知するため「啓発マスク」と「啓発カード」を、今回新たな啓発文言を記載した「啓発カイロ」と「啓発ウェットティッシュ」を作製しました。

人権週間街頭啓発活動や八尾市内各地区への配布・掲出、公共施設での配架、当協議会主催事業での配布など様々な方法で周知・啓発に努めました。



啓発マスク



啓発カイロ



啓発ウェットティッシュ



啓発カード

八尾市人権啓発推進協議会 人権宣言

当協議会では、スローガンである「地域が育む、人権文化のまちづくり～思いやり笑顔あふれる八尾のまち～」に、具体的な行動目標を加えた「人権宣言」をもとに、人権啓発を推進しております。

今後も引き続き、様々な活動を通じて、「差別がないまち“地域が育む人権文化のまち八尾”の実現」をめざしてまいります。

八尾市人権啓発推進協議会 人権宣言

地域が育む、人権文化のまちづくり
～思いやり笑顔あふれる八尾のまち～

わたしたちがくらす八尾市には、生まれも育ちも文化もさまざまな人がくらししています。

わたしたちは、誰もが安心して幸せにくらすことを願っています。

人との出会いにより新たな価値観を広げ、人生を豊かにし、差別がないまち“地域が育む 人権文化のまち 八尾”の実現をめざして、ここに宣言します。

1. あなたもわたしも“たいせつな”ひとり
1. 知って、学んで、たしかめましょう
1. あらゆる差別をなくしましょう
1. 人権の“わ”をみんなで広げましょう
1. 人権について、他人事ではなく、
自分事として考えましょう



持続可能な開発目標 (SDGs: SUSTANABLE DEVELOPMENT GOALS)

「持続可能な開発目標 (SDGs)」は、2015 (平成27) 年の国連サミットにて全会一致で採択された国際目標です。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するための17のゴールと169のターゲットが定められており、人権分野はすべてに関連しており、そのうち特に関わりの深いものを紹介します。

1 貧困をなくそう



貧困をなくそう

あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

10 人や国の不平等をなくそう



人や国の不平等をなくそう

各国内および各国間の不平等を是正する

2 飢餓をゼロに



飢餓をゼロ

飢餓を終わらせ、食糧安全保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する

16 平和と公正をすべての人に



平和と公正をすべての人に

持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

4 質の高い教育をみんなに



質の高い教育をみんなに

すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し生涯学習の機会を促進する

17 パートナーシップで目標を達成しよう



パートナーシップで目標を達成しよう

持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

5 ジェンダー平等を実現しよう



ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダー平等を達成し、すべての女性および女児の能力強化を行う



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

発行／八尾市人権啓発推進協議会

〒581-0003 八尾市本町1-1-1 事務局 八尾市人権ふれあい部 人権政策課内

電話(072)924-3830/FAX(072)924-0175